

## 海外広報講演会「アクティビスト対応を踏まえた 海外コミュニケーションのあり方」を開催

開催日： 2019年12月16日(月)  
場 所： 経団連会館  
講 師： ヨッヘン・レゲヴィー Kekst CNC アジア地域代表/日本最高責任者  
大谷 みな子 Kekst CNC シニアコンサルタント

経済広報センターは2019年12月16日、東京・大手町の経団連会館で、Kekst CNC アジア地域代表・日本最高責任者のヨッヘン・レゲヴィー氏と同シニアコンサルタントの大谷みな子氏を招き、海外広報講演会「アクティビスト対応を踏まえた海外コミュニケーションのあり方」を開催した。

冒頭、レゲヴィー氏から、日本企業の株主構造が変化し、外国人投資家が存在感を増しているなかで、海外メディア対応や外国人投資家との対話の重要性が高まっているとの説明があった。続いて大谷氏は、物言う株主が日本において存在感を増している背景や彼らの要求事項などについて事例を引用し解説した。

さらに、両者は、グローバルに活動するアクティビストのアプローチ手法を含めた最近の傾向を紹介。これらに対する企業側の予防、準備そして対応について解説するとともに、シェアホルダー・アクティビズムに関する日本メディアの論調に肯定的な面も出てきている点を指摘した。そのうえで、アクティビスト対策のカギは、広報を含めた平時からの準備にあり、アクティビストの活動を脅威ではなく成長機会ととらえることが重要であると提案を行い、プレゼンテーションを締めくくった。



左から 大谷氏、レゲヴィー氏

同講演会には約70名が参加。海外メディアへの対応方法などについても活発な質疑応答が行われ、海外コミュニケーションへの関心の高さが示された。

以上